

株主・投資家の皆様へ

第100期 中間報告書  
平成20年4月1日から  
平成20年9月30日まで



大正製薬株式会社

## 変化はチャンス： 次のステージに向けて挑戦



代表取締役社長  
上原 明

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社第100期中間期（平成20年4月1日から9月30日まで）の事業概況などにつきまして、ここにご報告申し上げます。

現在、企業を取り巻く環境は、ますます厳しくなっております。サブプライム問題に端を発した世界的な金融危機の拡がりから実体経済の落ち込みが懸念されるなど、先行きの不透明感が増しているのが現状です。そのような状況のなかで当社は、製薬企業として、生活者の健康に貢献するという本来の役割を果たすべく、事業拡充に努めております。そして、このような転換期をチャンスととらえ、さらに次のステージに向けて、挑戦していきたいと考えています。

セルフメディケーション事業につきましては、2009年の改正薬事法施行を目前に控え、OTC医薬品の販売制度を中心に、大きな変化が予想されています。スイッチOTC薬や新しい領域のOTC医薬品の増加も見込まれるため、注目が高まっています。これを機に、OTC医薬品がますます生

活者の皆様のお役に立てるように、当社では様々な取り組みを行ってまいります。

医薬事業につきましては、販売子会社の大正富山医薬品において昨年、今年と抗菌薬の新製品を発売することができました。これらの製品はともに大型化が期待されます。また、将来の成長を見据えた研究開発を積極的に推進するとともに、大正富山医薬品の得意領域をさらに強化するため、開発品・製品の導入活動などを行っています。

配当につきましては、今年度も中間配当1株あたり12円を実施いたしました。引き続き、配当性向30%（単体ベース、特別損益を除く）を目途とし、万一業績が悪化し、配当性向が30%を超える場合でも、特段の事情がないかぎり1株あたり年間27円の配当を維持する方針です。

私どもは引き続き、新しい時代にふさわしい取り組みによって、健康関連の領域における優れた商品、役立つ情報を生活者に提供することにより、社会に貢献し、企業としての存在価値をさらに高めていきたいと考えています。今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 当社の事業内容と取り組みについて

当社では、OTC医薬品、医薬部外品を中心とした、主力のセルフメディケーション事業をいっそう拡充するとともに、医療用医薬品を中心とした医薬事業の強化に努めています。

セルフメディケーション事業については、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」、かぜ薬の「パブロンシリーズ」、壮年性脱毛症における発毛剤「リアップシリーズ」の主力3ブランドを中心に、多くのトップブランドを有しています。今後はさらに、既存ブランドを強化していくとともに、新しい取り組みが必要となっています。医療用医薬品の成分を転用した「スイッチOTC薬」、新しい素材、新しい領域におけるOTC医薬品の開発がこの分野での成長を左右すると考えており、さらに注力していく方針です。生活者のニーズの変化、あるいは流通の状況の変化といった様々

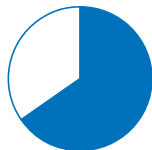
な変化のなかで、企業の力が発揮されるものと考えています。

一方、医薬事業については、大正富山医薬品の重点領域である感染症領域、整形外科を中心とした炎症・免疫領域でリーディングカンパニーとなることを目指しています。さらに、精神疾患、代謝性疾患の領域においてオリジナル新薬を創出することにより、第3、第4の柱をつくるべく、研究開発も引き続き積極的に推進してまいります。これらの領域は市場規模が世界的に極めて大きく、日本でも拡大することが予想されており、事業基盤の安定には不可欠であると考えています。

セルフメディケーション事業、医薬事業が両輪となって、それぞれの成長により、大正製薬の総合力がいっそう強化されるものと考えています。

### セルフメディケーション事業

売上高構成比  
**65.3%**



### 医薬事業

売上高構成比  
**34.7%**



(売上高構成比は平成21年3月期 中間期)

## 新製品・開発品の状況

### セルフメディケーション事業：新製品の動向

当社では、生活者ニーズに合致した製品開発に積極的に取り組む一方、医療用医薬品の成分を転用した「スイッチOTC薬」の開発も強化しています。当中間期は、禁煙補助剤「シガノンCQ」を発売（4ページ参照）、また、有効成分を医療用と同量配合した腔カンジダ再発治療薬「メディトリート」の承認を取得しました（10月1日に発売）。

この他、服用時の悩みの声から生まれた新しいかぜ薬「パブロン50」、女性のニーズに対応したミニドリンク剤「アルフェネオ」などを発売、また、株式会社伊勢丹と共同で開発したハーブ濃縮飲料「密」も好評につき、9月に新規アイテムを追加しました。

### 医薬事業：新製品・開発品の動向

当社では、研究開発の重点領域を「精神疾患」「代謝性疾患」「アレルギー性疾患」および「感染症」に絞り、世界に通用する新薬の創出に取り組んでいます。

当中間期は、抗菌薬「クラリス錠200」の適応追加として、「MAC症を含む非結核性抗酸菌症」が承認されました。また、富山化学工業が大鵬薬品工業と共同で開発した抗菌薬「ゾシン®静注用2.25、4.5」が承認されました（10月1日に発売、4ページ参照）。

なお、糖尿病治療薬TS-033について、10月に開発を中止し、第1相臨床試験段階（フェーズ1）にあるTS-033のバックアップ化合物に注力することとしました。

| 製品名・開発コード      | 剤形 | 薬効・適応症                    | 開発段階        |       |       |    | 開発形態     | オリジン        |
|----------------|----|---------------------------|-------------|-------|-------|----|----------|-------------|
|                |    |                           | フェーズ1       | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 |          |             |
| 国内             |    |                           |             |       |       |    |          |             |
| CT-081 (ED-71) | 経口 | 骨粗鬆症                      | ●           |       |       |    | 中外製薬共同   | 中外製薬        |
| CT-064         | 注射 | 骨粗鬆症                      | ● (フェーズ2/3) |       |       |    | 中外製薬共同   | ロシュ         |
| NT-702         | 経口 | 閉塞性動脈硬化症、腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行 | ●           |       |       |    | 日産化学工業共同 | 日産化学工業      |
| TT-063         | 外用 | 変形性関節症、肩関節周囲炎、筋肉痛等        | ●           |       |       |    | トクホン共同   | トクホン        |
| CT-064         | 経口 | 骨粗鬆症                      | ●           |       |       |    | 中外製薬共同   | ロシュ         |
| NT-702         | 経口 | 気管支喘息                     | ●           |       |       |    | 日産化学工業共同 | 日産化学工業      |
| TS-022         | 外用 | アトピー性皮膚炎に伴う掻痒症            | ●           |       |       |    | 自社       | 大正製薬        |
| バルクス           | 注射 | 腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行：適応追加     | ●           |       |       |    | 自社       | 大正製薬／田辺三菱製薬 |

(2008年10月29日現在)

## 「シガノンCQ」

～ 世界19ヶ国で販売されている

パッチタイプ禁煙補助剤 ～

当社は、OTC医薬品の禁煙補助剤「シガノンCQ」を、7月1日に発売しました。

「シガノンCQ」は、ニコチンを主成分とするパッチタイプの医薬品で、禁煙を成功に導くための禁煙補助剤です。少量のニコチンを含有したパッチを皮ふに貼ることで、ニコチンを継続的に供給し、禁煙時に出現するイライラや集中困難、落ち着かないなどのニコチン離脱症状を緩和します。サイズの異なる2種類のパッチを使い、8週間かけて禁煙をサポートします。



シガノンCQのサイト ▶ <http://ciganon.jp/>

「シガノンCQ」は、製品の開発元であるグラクソ・スミスクラインが独自開発したニコチン放出制御テクノロジーにより、ニコチンの皮ふへの透過をコントロールして、パッチ貼付直後に短時間でニコチンの血中濃度が上昇し、ニコチン離脱症状を早い段階で緩和します。さらにパッチを貼っている間（起床時から就寝前）の血中濃度を維持して禁煙を成功に導きます。

当社では、今後も新規領域のOTC医薬品の開発を通じて、生活者のセルフメディケーションに貢献いたします。

## 「ゾシン® 静注用2.25、4.5」新発売

当社連結子会社の大正富山医薬品は、β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン® 静注用2.25、4.5」（一般名：注射用タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム）を10月1日に発売しました。

本剤は、大鵬薬品工業株式会社と富山化学工業株式会社の両社で開発し、大鵬薬品が製造販売承認を取得した注射用抗生物質製剤です。β-ラクタマーゼ阻害剤タゾバクタムとペニシリン系抗生物質ピペラシリンを1：8の力価比で配合しており、肺炎をはじめ敗血症、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎に対して優れた臨床効果が期待できます。海外では米国をはじめ世界94ヶ国で承認され、感染症治療薬の一つ

として広く使用されています。

大正富山医薬品では、感染症領域を重点領域の一つとしています。昨年10月に発売したキノロン系合成抗菌剤「ジェニナック®錠200mg」に続き、本剤を感染症領域の製品群に加えることによって、より幅広い情報提供が可能となりました。今後も医療現場のニーズにお応えし、感染症領域でのリーディングカンパニーを目指します。





## 中間業績概況

### 当中間期の概況と業績

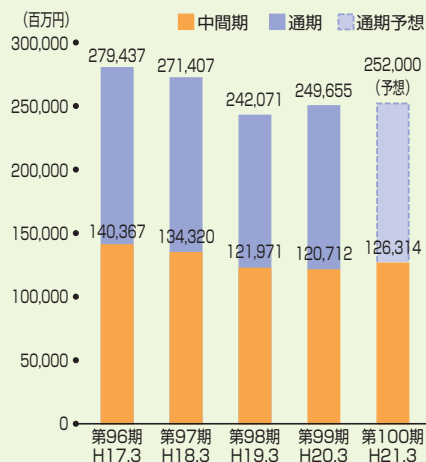
当中間期におけるセルフメディケーション関連市場は、OTC医薬品市場が7月までは低調に推移したものの、8月後半からの天候不順等の影響を受け、市場規模は前年同期比微減にとどまりました。医療用医薬品市場は、後発品の使用促進、包括医療範囲の拡大など、医療費適正化の諸施策が浸透するなかで今年4月には薬価改定も実施され、いっそう難しい事業環境となっています。

そのようななか、当社では、セルフメディケーション事業の基盤をさらに強化するため、情報提供に注力し、店頭での販売促進活動に取り組むとともに、商品ラインの充実を図ってきました。一方、医薬事業については、重点領域を中心とした情報提供活動の強化を進めるとともに、研究開発のスピードアップに努めています。その結果、当中間期の連結売上高は1,263億円（前年同期比5%増）となりました。なお、前期末に連結子会社となりましたピオフェルミン製薬株式会社の売上高44億円を連結売上高に取り込んでいます。

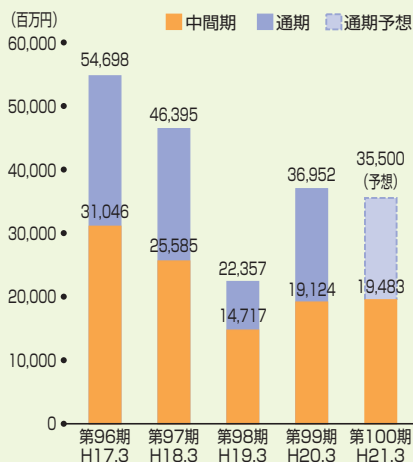
セルフメディケーション事業の売上高は825億円（同10%増）となりました。ドリンク剤「リボビタンシリーズ」が8月前半まで低調に推移したものの、同月後半からの天候不順により、同0.4%増の424億円にとどまりました。かぜ薬「パブロンシリーズ」は94億円（同19%増）と伸長しました。また、壮年性脱毛症における発毛剤「リアップシリーズ」は、新製品「リアッププラス」の寄与等により同20%増の58億円と順調でした。その他ブランドでは、「胃腸薬シリーズ」、便秘薬「コーラックシリーズ」などが低調に推移しました。特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は、同13%増の13億円となりました。

医薬事業の売上高は438億円（同3%減）となりました。主力品のマクロライド系抗菌薬「クラリス」が薬価改定の影響もあり、同11%減の98億円となりました。その他の製品も薬価改定の影響を受け、軒並み減収となりましたが、国内の医療用医薬品全体の売り上げについては、ほぼ前年同期並みの数量を確保し、計画通り推移しました。その他の売上高は、医家向け中間製品の売り上げ減少等により

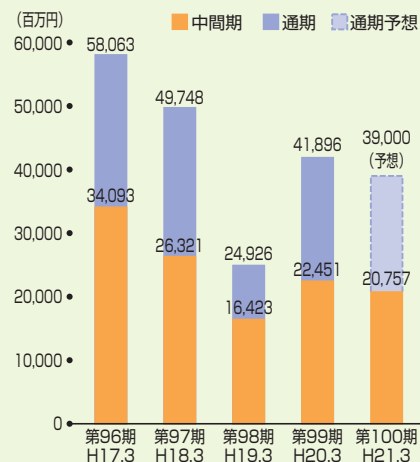
### 売上高



### 営業利益



### 経常利益



8%減少しました。工業所有権等使用料収益は、米国ファイザー社よりTS-032（統合失調症治療薬候補物質）に関するマイルストーンフィー収入があり、13億円となりました。

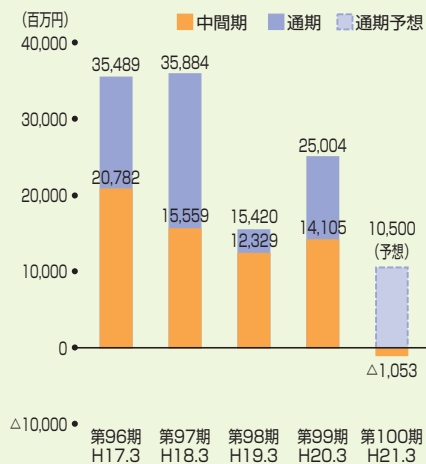
利益面については、売上総利益が改善したことに加え、販売費及び一般管理費についても、計画を下回る水準で推移しました。その結果、営業利益は195億円（同2%増）、経常利益は208億円（同8%減）となりました。なお、株式市場の低迷を受け、個別決算で関係会社（バイオフェルミン製薬株式会社）株式の評価損を計上したことに伴い、のれん一時償却費128億円を計上、投資有価証券評価損と合わせて134億円の特別損失を計上しました。よって、中間純損益については、11億円の損失となりました。

## 通期の見通し

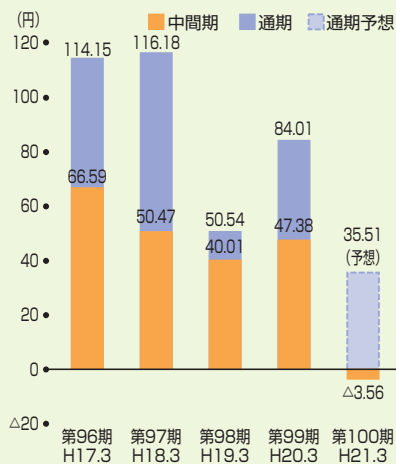
通期業績については、期初に発表した業績見通しを修正しました。連結売上高は、従来見通しの2,520億円（前年比1%増）を据え置きます。連結子会社バイオフェルミン製薬の売上高は83億円の寄与を織り込んでいます。利益については、中間期の進捗状況と費用面の見直しを行った結果、営業利益を25億円引き上げ355億円（同4%減）に、経常利益を15億円引き上げ390億円（同7%減）に上方修正しました。一方、当期純利益は中間期の特別損失ならびに下期の特別利益（端株譲渡益18億円）を反映し、従来予想の225億円から105億円（同58%減）に下方修正しました。

費用面については、販促費などの見直しを行う一方、研究開発費の計画を従来の248億円から274億円に引き上げています。セルフメディケーション事業における積極的な新製品開発（スイッチOTC等）をはじめ、両事業ともに将来に向けた取り組みを強化していきます。

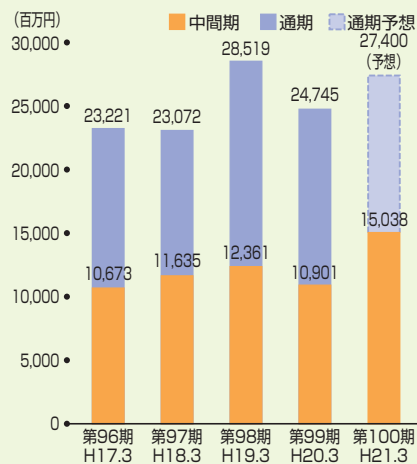
## 中間（当期）純利益



## 1株当たり中間（当期）純利益



## 研究開発費



## 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目             | 当中間連結<br>会計期間末<br>(平成20年9月30日現在) | 前中間連結<br>会計期間末<br>(平成19年9月30日現在) | 前 連 結<br>会 計 年 度<br>(平成20年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                                  |                                  |                                    |
| <b>流動資産</b>     | <b>246,674</b>                   | <b>249,709</b>                   | <b>249,463</b>                     |
| 現金・預金           | 131,549                          | 130,414                          | 127,955                            |
| 受取手形・売掛金        | 61,360                           | 73,102                           | 61,625                             |
| 有価証券            | 18,311                           | 8,462                            | 25,195                             |
| たな卸資産           | 24,909                           | 26,402                           | 24,074                             |
| 繰延税金資産          | 7,031                            | 7,481                            | 7,941                              |
| その他             | 3,511                            | 3,846                            | 2,671                              |
| <b>固定資産</b>     | <b>354,004</b>                   | <b>372,298</b>                   | <b>377,760</b>                     |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>94,554</b>                    | <b>95,057</b>                    | <b>97,149</b>                      |
| 建物・構築物          | 50,366                           | 50,500                           | 51,998                             |
| 機械装置・運搬具        | 10,164                           | 11,922                           | 11,126                             |
| 土地              | 29,659                           | 27,413                           | 29,657                             |
| 建設仮勘定           | 368                              | 1,060                            | 167                                |
| その他             | 3,995                            | 4,160                            | 4,198                              |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>10,285</b>                    | <b>7,221</b>                     | <b>22,751</b>                      |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>249,164</b>                   | <b>270,019</b>                   | <b>257,858</b>                     |
| 投資有価証券          | 207,988                          | 243,471                          | 216,968                            |
| その他             | 41,176                           | 26,547                           | 40,890                             |
| <b>資産合計</b>     | <b>600,679</b>                   | <b>622,008</b>                   | <b>627,224</b>                     |

連結  
貸借対照表の  
ポイント

1

流動資産は有価証券が68億円減少したことなどにより前期末比27億円減少。固定資産は無形固定資産が前期末に比べ124億円減少したことなどで、237億円減少。

連結  
貸借対照表の  
ポイント

2

流動負債は未払金の減少などにより前期末に比べ61億円減少、固定負債は3億円減少。

(単位：百万円)

| 科 目             | 当中間連結<br>会計期間末<br>(平成20年9月30日現在) | 前中間連結<br>会計期間末<br>(平成19年9月30日現在) | 前 連 結<br>会 計 年 度<br>(平成20年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <b>負債の部</b>     |                                  |                                  |                                    |
| <b>流動負債</b>     | <b>49,530</b>                    | <b>53,247</b>                    | <b>55,643</b>                      |
| 支払手形・買掛金        | 19,681                           | 22,751                           | 20,159                             |
| 短期借入金           | 340                              | 260                              | 260                                |
| 未払金             | 9,661                            | 9,623                            | 12,660                             |
| 未払法人税等          | 8,219                            | 7,960                            | 9,730                              |
| その他             | 11,627                           | 12,651                           | 12,832                             |
| <b>固定負債</b>     | <b>22,543</b>                    | <b>22,422</b>                    | <b>22,930</b>                      |
| 退職給付引当金         | 15,545                           | 15,022                           | 15,128                             |
| その他             | 6,997                            | 7,399                            | 7,802                              |
| <b>負債合計</b>     | <b>72,074</b>                    | <b>75,669</b>                    | <b>78,573</b>                      |
| <b>純資産の部</b>    |                                  |                                  |                                    |
| <b>株主資本</b>     | <b>515,999</b>                   | <b>526,249</b>                   | <b>532,852</b>                     |
| 資本金             | 29,804                           | 29,804                           | 29,804                             |
| 資本剰余金           | 14,935                           | 14,935                           | 14,935                             |
| 利益剰余金           | 529,033                          | 527,226                          | 534,550                            |
| 自己株式            | (△) 57,773                       | (△) 45,717                       | (△) 46,437                         |
| <b>評価・換算差額等</b> | <b>3,866</b>                     | <b>18,100</b>                    | <b>7,223</b>                       |
| その他有価証券評価差額金    | 7,412                            | 19,113                           | 9,630                              |
| 繰延ヘッジ損益         | —                                | (△) 11                           | (△) 14                             |
| 為替換算調整勘定        | (△) 3,545                        | (△) 1,002                        | (△) 2,392                          |
| <b>少数株主持分</b>   | <b>8,738</b>                     | <b>1,989</b>                     | <b>8,573</b>                       |
| <b>純資産合計</b>    | <b>528,605</b>                   | <b>546,338</b>                   | <b>548,650</b>                     |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>600,679</b>                   | <b>622,008</b>                   | <b>627,224</b>                     |

連結  
貸借対照表の  
ポイント

3

純資産は自己株式の増加などにより前期末に比べ200億円減少。



## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目                 | 当中間連結<br>会計期間                    | 前中間連結<br>会計期間                    | 前 連 結<br>会計年度                    |
|---------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
|                     | (平成20年 4月 1日から<br>平成20年 9月30日まで) | (平成19年 4月 1日から<br>平成19年 9月30日まで) | (平成19年 4月 1日から<br>平成20年 3月31日まで) |
| 売上高                 | 126,314                          | 120,712                          | 249,655                          |
| 売上原価                | 41,437                           | 40,546                           | 85,295                           |
| 売上総利益               | 84,876                           | 80,166                           | 164,360                          |
| 返品調整引当金繰入額((△)は戻入額) | (△) 115                          | 79                               | (△) 127                          |
| 販売費及び一般管理費          | 65,509                           | 60,962                           | 127,535                          |
| 営業利益                | 19,483                           | 19,124                           | 36,952                           |
| 営業外収益               | 3,352                            | 3,609                            | 6,222                            |
| 営業外費用               | 2,079                            | 283                              | 1,277                            |
| 経常利益                | 20,757                           | 22,451                           | 41,896                           |
| 特別利益                | 975                              | 84                               | 236                              |
| 特別損失                | 13,394                           | 104                              | 1,143                            |
| 税金等調整前中間(当期)純利益     | 8,338                            | 22,430                           | 40,990                           |
| 法人税、住民税及び事業税        | 8,788                            | 8,133                            | 14,753                           |
| 法人税等調整額             | 241                              | 88                               | 1,028                            |
| 少数株主利益              | 361                              | 102                              | 204                              |
| 中間(当期)純利益((△)は純損失)  | (△) 1,053                        | 14,105                           | 25,004                           |

### 連結 損益計算書の ポイント

1

個別決算で関係会社株式評価損を計上したことに伴い、のれん一時償却費128億円を計上したことなどにより中間純利益は△1,053百万円となった。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

| 科 目                          | 当中間連結<br>会計期間                    | 前中間連結<br>会計期間                    | 前 連 結<br>会計年度                    |
|------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
|                              | (平成20年 4月 1日から<br>平成20年 9月30日まで) | (平成19年 4月 1日から<br>平成19年 9月30日まで) | (平成19年 4月 1日から<br>平成20年 3月31日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー             | 10,965                           | 13,193                           | 50,745                           |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー             | 13,743                           | (△) 6,219                        | (△) 35,063                       |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー             | (△) 15,916                       | (△) 8,196                        | (△) 11,431                       |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額             | (△) 281                          | 317                              | (△) 10                           |
| 現金及び現金同等物の増加((△)は減少)額        | 8,511                            | (△) 904                          | 4,240                            |
| 現金及び現金同等物の期首残高               | 72,621                           | 68,381                           | 68,381                           |
| 現金及び現金同等物の第2四半期連結累計期間末(期末)残高 | 81,133                           | 67,477                           | 72,621                           |

## 配当金のお知らせ

株主の皆様への当期の中間配当金につきましては、当社普通株式1株につき12円とさせていただきます。

## 株式の状況・会社概要

### 株式の状況（平成20年9月30日現在）

|          |      |                |
|----------|------|----------------|
| 発行可能株式総数 | 普通株式 | 1,174,959,000株 |
| 発行済株式総数  | 普通株式 | 320,465,510株   |
| 単元株式数    |      | 1,000株         |
| 株主数      |      | 37,135名        |

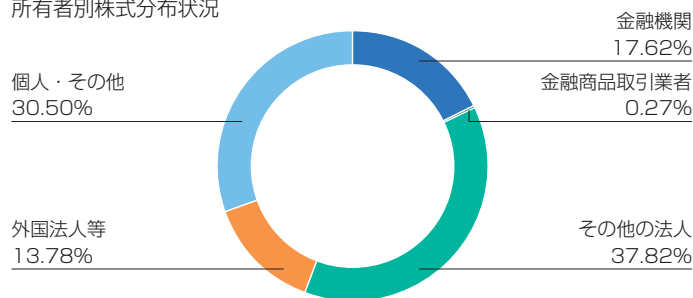
#### 大株主

| 株主名                         | 当社への出資状況  |           |
|-----------------------------|-----------|-----------|
|                             | 持株数<br>千株 | 出資比率<br>% |
| 財団法人上原記念生命科学財団              | 43,000    | 14.70     |
| 上原昭二                        | 36,614    | 12.52     |
| 大正製薬株式会社                    | 27,994    | —         |
| 住友化学株式会社                    | 12,133    | 4.15      |
| 株式会社三井住友銀行                  | 10,000    | 3.42      |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行               | 10,000    | 3.42      |
| 財団法人上原近代美術館                 | 10,000    | 3.42      |
| 上原明                         | 7,145     | 2.44      |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）   | 6,021     | 2.06      |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4G） | 5,812     | 1.99      |

※持株数は千株未満切り捨て。

※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

#### 所有者別株式分布状況



※自己株式は、控除して計算しております。

### 会社概要（平成20年9月30日現在）

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 商号     | 大正製薬株式会社                           |
| 主な事業内容 | 医薬品、医薬部外品、化粧品、食品、<br>雑貨などの製造ならびに販売 |
| 創業     | 大正元年（1912年）                        |
| 会社設立   | 昭和3年（1928年）                        |
| 資本金    | 298億円                              |
| 従業員数   | 5,491人（連結）、3,544人（単体）              |
| 本店所在地  | 〒170-8633<br>東京都豊島区高田三丁目24番1号      |

### 役員一覧（平成20年9月30日現在）

#### ●取締役

上原明（代表取締役社長）  
大平明（代表取締役副社長）  
堀田尚孝（代表取締役副社長）  
上原茂（常務取締役）

佐々木賢明

北村一泰

酒井明人

上原健

森川敏雄（社外取締役）

#### ●監査役

戸山敏（常勤）

森本繁夫（常勤）

佃孝之（社外監査役）

伊従寛（社外監査役）

楠本節子（社外監査役）

# 平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ

## 1. 特別口座について

### 1 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

### 2 特別口座に記録された株式に関する手続き

特別口座に記録された株式に関する手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本店でお取次ぎいたします。

### 3 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

|        |   |
|--------|---|
| 口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 連絡先    | 〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) |

### 4 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主様の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

## 2. 株券電子化前後における 単元未満株式買取請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

### 1 保管振替制度をご利用でない単元未満株式

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格のご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

### 2 保管振替制度をご利用の単元未満株式

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。

具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

<http://www.taisho.co.jp/>

さらに詳しい財務情報はHPをご覧ください



トップページ

IRページ

## 株 主 メ モ

|             |  |
|-------------|--|
| 事業年度        | 4月1日～翌年3月31日   |
| 定時株主総会      | 毎年6月に開催いたします。  |
| 期末配当の基準日    | 毎年3月31日  |
| 中間配当の基準日    | 毎年9月30日  |
| 株主名簿管理人     | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同 連 絡 先     | 〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-232-711（フリーダイヤル）                                      |
| 同 取 次 所     | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  |
| 公 告 掲 載 URL | <a href="http://www.taisho.co.jp/">http://www.taisho.co.jp/</a><br>ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。 |

## お知らせ

### ○株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL 0120-244-479（フリーダイヤル）

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### （ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



# 大正製薬株式会社

〒170-8633 東京都豊島区高田三丁目24番1号

TEL：03-3985-1111

<http://www.taisho.co.jp/>

